

会計分野における 身に付けた知識・技術を活用し、根拠を明らかにした 自分の考えを伝え合うことができる生徒の育成

—ジグソー法による伝え合うグループ活動と発表の場面を通して—

特別研修員 商業 松井 あゆみ (高等学校教諭)

●Before 生徒の実態

根拠を示して論理的に考えを伝えることが苦手であり、理解した知識を深められていない
実践授業「財務諸表分析」

【手立て1】身に付けた知識・技術の確認と 自分の考えを伝え合うグループ学習活動の設定 (ジグソー法①)

同じ視点ごとのグループ活動 (各グループ3~4名)

Aグループ Bグループ Cグループ

A A A B B B C C C

安全性 収益性 (利益) 収益性 (売上)

① 問題演習 (専用ワークシートによる分析) ② 根拠を考え伝え合う

基礎的・基本的な知識を確認する (個人) 解答の根拠を考え話し合う (グループ)

A: 安全性の分析 B: 収益性の分析-利益 C: 収益性の分析-売上

自社期間比較
同業他社比較
魅力と根拠

流動負債が増加してるからだ。何の勘定科目が原因?
短期支払能力が前年と比べると高くなったね!!何が原因かな?

【手立て2】身に付けた知識・技術を活用して自分の考えを伝え合い、 発表する過程で理解をより深める場面の設定 (ジグソー法②)

異なる視点ごとのグループ活動 (各グループ3名)

混合グループ

安全性 A
収益性 (利益) B
収益性 (売上) C

① 解説し合う (知識の共有) ② 総合的に考える (知識の結合)

【手立て1】の解答について班員にそれぞれの分析の解説をする (グループ) ①の解説から三つの分析を踏まえた魅力と課題を考える (個人→グループ)

【共通ワークシート】活動之株式会社SUBARUの魅力は?

① A分析のメモ ① C分析のメモ
① B分析のメモ ②③ 三つ分析から魅力と課題の根拠
④ 振り返り

③ 発表 (全体で共有) ④ 振り返り (再構築)

各グループの異なる解答を共有し、より深い根拠につなげる (全体) ③で共有した意見を踏まえて、もう一度各自で魅力と課題を考え、理解を深める (個人)

三つの分析の成長率を比較すると一番伸びているのはC分析。
その中でも固定資産回転率は、同業他社の中で一番優れてるね!!

●After 目指す生徒像

身に付けた知識・技術を活用することができる生徒
根拠を明らかにした自分の考えを伝え合うことができる生徒



【成果】

- 専用ワークシートにより、身に付けた知識・技術を活用して根拠を踏まえた自分の考えをまとめることができた。
- 【手立て2】で三つの分析を踏まえて総合的に考えるため、【手立て1】の活動で、伝えることを意識した根拠を話し合っていた。
- 異なる分析結果の共有や数値の変動理由などの疑問を全体で考察することで、理解をより深めることができた。

【課題】

- グループ活動や発表の内容を充実させるためには、より一層の基礎的・基本的な知識・技術の定着が必要である。
- 今後も根拠を明らかにした自分の考えを伝え合うことができるように、ペア学習などで継続した指導が必要である。